

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」天童校			
○保護者評価実施期間	2025年11月15日		～	2025年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数)	49
○従業者評価実施期間	2025年11月15日		～	2025年12月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日	～		年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数)	0
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応、マンツーマンでの療育。一人ひとりの個性や特性を生かし、様々な支援を通して自己肯定感を高め、発達・成長を助長する支援を行っている。	児童の状況を多方面から把握・理解したうえで、一人一人に応じたプログラム作成、支援内容、実施を行っている。	楽しい支援内容に繋がるために、工夫やアイデアを出し合いながら職員同士が情報を共有し努力している。職員間の専門性を高めるために、積極的に研修や学習会、相談会などに参加している。
2	相談支援事業所や学校、他事業所などの関係機関との連携に力を入れている。	保護者様やご利用者様に心配なことや困りごとがあった場合は、詳しく内容をお聞きし、学校や相談支援事業所、他事業所を含めた解決方法を見出せるよう、積極的に話し合い等ご提案させていただく。	日頃より、ご利用者様や保護者様の様子によく配慮し、お気軽にお声がけいただける雰囲気心を心がけている。また、職員が独断で判断してしまうことが無いよう皆で話し合いながらよりよい判断や助言などができるよう協力している。
3	保護者様と毎回顔を合わせ、当日の様子と今後の支援などをお伝えするフィードバックの時間を設けている。ご家庭や園または学校での様子を共有でき、支援に活かすことができています。	支援内容は、保護者様のご要望と本人の興味関心を合わせながら、目標に向かって成長して行けるよう支援内容や課題、教材などを工夫している。	保護者様のご要望を踏まえつつも、ご利用者側の気持ちや特性の正確な分析を心掛け、ご利用者様が楽しく取り組める支援内容にしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご利用希望の方が多く、新規の方がなかなかご利用ができない場合があること。	特に早期の療育の大切さを知っていただき、年齢が低いときから支援させていただけるよう周知活動を行っていく。	これまで通り、保護者様にもご利用者様にもあたたかい環境を提供していきたい。成長し、無事卒業を迎えられるよう支援に力を入れ、空きが出たところをスムーズにご提供できるようにしていく。
2	体を動かす場合に狭さを感じるという声がある点。	学習・SSTの課題では狭さは特に感じないものの、粗大運動の種類によっては狭さを感じることもある。	基準を満たしたスペースの建物ではあるものの、狭さを感じているという意見が聞かれるので、さらにスペースの利用の仕方など工夫が必要と感じる。同じ効果があるが別の粗大運動に変えるなど課題の調整や、パーティションや備品配置の工夫・改善をしていきたい。
3	地域でのイベントや他施設との関わり	個別療育を基本とした支援形態のため、機会をなかなか設けていない。	今後も必要に応じて、どのようなことであれば可能か検討していきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「クラ・ゼミ」天童校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

49名

回収数 49/49 (100%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	15	2	4	・体を動かすには狭く感じる場合があります。 ・学習スペースは、確保されていると感じます。体を動かせるスペースはもう少し広いほうが良いと感じます。 ・ボール遊びをしていた子のボールが勉強中の子に何度も当たっていたことがあります。	・基準を満たしている施設ではありますが、活動によっては狭さを感じることもあるかと思えます。活動内容を工夫するなど心地よく安全に使えますよう努めてまいります。 ・お知らせいただきありがとうございます。活動の違いで他のお子さんが困っていないかどうか、職員全員でよく配慮していきたいと思えます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	44	5	0	0	資格を持った方々でやられているので的確な対応をいただいていると思います。	ありがとうございます。日々専門性を高められるよう努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	44	5	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	45	3	0	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	47	2	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	47	2	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	47	2	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	46	3	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	47	2	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	46	1	0	2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	12	7	19		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	47	2	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	47	2	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	10	3	12	エントランスでの、広報ツールなどでの情報をいただいています。	エントランスでお待ちいただく際等に、皆さん掲示物をご覧になられていて、よく話題にいただき感謝しています。今後も研修等の情報提供をわかりやすく行っていけるようにしていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	47	2	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	48	1	0	0	お迎えの際、最近の様子や困り事に、共感やアドバイスをくださるので助かっています。	お気軽にお声がけいただける関係性をありがたく感じています。今後どうぞお気軽にお声がけください。

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	47	2	0	0	・子の良いところを伝えてもらえるので、親としても気が付きます。 ・療育で困った際、親身になって相談に乗っていただきました。	・成長や頑張りについて、常に見逃さずお伝えできればと考えています。 ・ご家族に寄り添い、困り事は一緒に考えていきたいと思っております。何かありましたらいつでもお気軽にご相談いただければと思います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	7	7	23		、
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	46	1	0	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	48	0	0	1	LINEは便利なので助かります。	現代の生活スタイルにニーズに合わせた形で、今後も情報共有を大事にしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	41	6	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	47	1	1	0	迎えに行くと説明を受ける時に、待っていると丸聞こえなのが気になります。	狭いエントランスでご不便をおかけしております。気候が良い時期は、玄関先も含めそれぞれの保護者様同士のスペースをなるべく確保し、フィードバックをさせていただけるよう努めさせていただきます。また、別日で改めてゆっくりと相談などの時間をいただいたり、後ほどLINEなどで共有させていただくなど、工夫・改善をさせていただければと思います。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	45	0	0	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	40	3	0	6		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	44	3	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	40	4	0	5		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	49	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	48	1	0	0	・楽しく通っているので、それが一番ありがたいです。 ・支援日になると、朝から楽しみにしています。	ありがたい限りです。今後も楽しみに通っていただけるよう努めてまいります。職員一同も皆さんに会えることがとても楽しみにしています。ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	47	2	0	0	親子共々支援していただいており、心強いです。	ありがたい言葉をありがとうございます。ご家族皆様に寄り添うことができればと思いますので、今後ともよろしく願います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」天童校				公表日	2026 年 2 月 14 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		パーティションなどを利用して、空間をうまく利用できるようにしている。	粗大運動で、時計等の破損に気を付ける。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個室が設けられており、必要に応じて有意義に活用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は行っていないが、内部監査（社内）を徹底しており、実地指導も不備なく対応できている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		支援の質を向上するための研修が定期的に行われている。	今後も積極的に対応していく。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			なかなか連携が取れないケースや、取れるケースなど差があるため、関係機関と丁寧な関わりを持ちながら、連携した支援体制になるよう努めたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		こども部会への前段階としての、市の児発放デイ連絡会に積極的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	ご家族への助言等させていただいているが、本格的なペアレント・トレーニングは行っていない。	必要に応じて、研修を受けた職員で行うことを検討したい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			